

文化財庭園保存技術者協議会 会報

2005.5 第6号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：玉根徳四郎）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPO みどりのまちづくり研究所内

TEL. 075-341-2600 FAX. 075-361-0961

評議会連絡所：〒606-8371 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学日本庭園研究センター

TEL. 075-791-9018 FAX. 075-791-9342

東京 連絡所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-6-3 福田ビル 3F 文化財庭園保存技術研究センター

TEL. 03-3202-5233 FAX. 03-3202-5394

平成17年度総会・第1回研修会のご案内

平成17年度の総会・第1回研修会を下記の通り開催いたします。平成16年度は石組み管理技術を主なテーマに研修会を開催しましたが、平成17年度は水処理管理技術を中心とした研修会を計画しています。今回の教養研修は3名の講師をお招きし、具体的な事例を交えご講演頂きます。

実技技能研修では、昨年度に引き続き京都御苑内旧閑院宮邸庭園と、同祐ノ井庭園にて空間構成について会員諸氏と討議しつつ、実際に庭園において研修を行います。また、国指定名勝無鄰菴、京都市指定名勝白河院庭園、植治作庭の名園織寶苑にて実地技能研修を行います。活発な意見交換も展開されます。

ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

●平成17年6月10日（金） 会場：白河院

14：00 総会

14：45 教養研修（公開講演）

①「史跡等整備」 講師：本中 眞氏（文化庁記念物課主任文化財調査官）

②「赤穂旧上水道」 講師：中田 宗伯氏（赤穂市教育委員会社会教育課）

③「辰巳用水」 講師：龍居 竹之介氏（本協議会評議員）

16：45 実地技能研修 京都市指定名勝白河院庭園 指導：尼崎博正氏（本協議会評議員）

17：30 情報交換会

●平成17年6月11日（土） 会場：京都御苑内旧閑院宮邸庭園跡・祐ノ井庭園

9：30～16：00 実地技能研修

●平成17年6月12日（日） 会場：名勝無鄰菴・織寶苑庭園

9：00～12：00 実地技能研修

★総会会場★

名称：白河院

住所：京都市左京区岡崎法勝寺町16

交通：京都市営地下鉄「蹴上」駅より徒歩約13分

京都市営バス「法勝寺」バス停すぐ前

駐車場：ございません。公共交通機関をご利用下さい。

★研修会会場★

10日 教養研修 白河院

11日 実地技能研修 環境省京都御苑内

12日 実地技能研修 名勝無鄰菴・織寶苑

※教養研修は一般公開いたしますので、どなたでもご参加頂けます。ただし、事前のお申し込みが必要になりますので、事務局（TEL075-341-2600）までお問い合わせ下さい。



総会会場地図

第2回実技技能研修 第3回教養研修開催



本願寺にて教養研修の様子



滴翠園にて実地技能研修の様子



京都御苑にて教養研修の様子

平成16年12月4日(土)5日(日)、京都市西本願寺、京都御苑内旧閑院宮邸庭園において出席者34名で開催しました。

12月4日(土)公開講座で教養研修が西本願寺で行われました。当協議会評議員で名勝滴翠園整備委員会委員長の龍居竹之介氏より、「文化財庭園の石組み管理技術について」の演題で現在保存修理事業が行われている滴翠園の護岸状況、変わりゆく文化財庭園の姿について講演がありました。時の流れと共に庭園の姿は変化し、その価値観まで変えてしまう。修復を必要とする庭園は、いつの時代の姿に戻すのか滴翠園や浜離宮庭園を事例に解説されました。続いて当協議会賛助会員で名勝滴翠園整備の設計管理に携わられている松原法昭氏より「名勝滴翠園保存修理事業の概要」の演題で整備計画や方針、飛雲閣と庭園の関係について講演いただきました。各時代の護岸状況や石組み手法、造営当初から現在に至る建物と庭園を史料調査による歴史的変遷について解説されました。会場を滴翠園に移し、引き続き龍居竹之介氏、松原法昭氏、そして当協議会副代表で整備工事を担当されている上原修氏の案内により、護岸の石組み手法や池底処理等の整備状況を見学しました。更に特別名勝本願寺大書院庭園(虎溪の庭)を見学し、平面図と照らし合わせ会員諸氏で庭園の空間構成についてディスカッションを行ないました。

12月5日(日)京都御苑内旧閑院宮邸庭園で実技技能研修を予定しておりましたが、天候不良の為中止し、龍居竹之介氏より「日本の庭園の歩みなどをめぐって」についての講演をいただきました。その後、会員諸氏が携っている文化財庭園についての現状と課題点について発表いただき、その内容について評議員とともに討議を行ないました。その中では、文化財庭園と公共造園との相違についての市民理解度を高める必要があることや文化財庭園を維持するためには、常用雇用が理想的であるが、現実にはそのようなケースは少ないことなどが話されました。最後に評議員中村一氏から「文化財庭園に携わるそれぞれが、文化財庭園保存管理技術への認知度を向上させる活動を心がけ、庭園の所有者や市民から文化財庭園を守るために我々の技術が必要不可欠であり、そのためには常用の庭師必要であるということを理解していただけるような協議会活動を今後行なっていく必要があるだろう。」との意見を頂きました。

第3回実地技能研修 第4回教養研修開催

平成17年2月8日(火)9日(水)、神奈川県鎌倉市において出席者42名で鎌倉市、建長寺、瑞泉寺、円覚寺の御協力を賜り開催しました。

2月8日(火)は、まず本協議会代表玉根徳四郎氏より開催の挨拶があり、続いて建長寺宗務総長高井正俊氏、文化庁記念物課文化財調査官平沢毅氏より来賓挨拶を頂きました。建長寺において公開講座で教養研修を行い、平沢毅氏には引き続き史跡等整備のてびき(保存と活用のために)、その史跡等の保護・保存・活用の概念と整備の関係について講演がありました。史跡等の整備において重要な「三つの柱」整備の理念、計画・設計の原則と方向性、技術の体系が示され、今回はこのうち「計画・設計の原則と方向性」に関わる史跡等整備事業の内容および手順について、実際の整備計画の事例をあげ解説されました。

続いて、鎌倉市世界遺産登録推進担当玉林美男氏より「鎌倉における庭園・遺跡庭園とその種類」の演題で、古絵図や発掘状況の写真から見た歴史の変遷や浄土庭園、禅宗寺院庭園等の特徴について講演がありました。浄土庭園である旧永福寺庭園の、発掘調査から明らかとなった建物と庭園の関係、禅宗寺院庭園である建長寺中庭庭園や円覚寺庭園の古絵図等から伽藍配置に基づき造営された建物と庭園の関係等が解説されました。続いて本協議会評議員龍居竹之介氏より「鎌倉の庭園」の演題で鎌倉を取り巻く環境、風土が庭園の特徴に及ぼす影響について講演がありました。瑞泉寺偏界一覽亭からの俯瞰の広大さ、建長寺や円覚寺を取り巻く仰視の森厳さ、瑞泉寺や無量寺跡庭園にみられる面壁の峻烈さ、これらは他に類例のない特色として解説されました。その後、龍居竹之介氏と庭園整備に携わられた本協議会福代表廣瀬慶寛氏から、整備前の状況や整備方針石組み手法や植栽整備について解説いただき、建長寺庭園の見学を行いました。

2月9日(水)旧永福寺跡、瑞泉寺、円覚寺において玉林美男氏・龍居竹之介氏・廣瀬慶寛氏のご案内のもと、実地技能研修を行いました。前日の教養研修をふまえ、それぞれの寺院での立地環境と庭園の関係や、周りを取り巻く環境の変遷、庭園整備方針ならびに発掘状況、整備方法の説明を受け、整備がどのように進められているか解説を交え研修を行いました。旧永福寺跡では周りを取り巻く地形の特徴や歴史



実地技能研修の様子



教養研修の様子

変化、発掘調査より明らかとなった地割、建物の位置や池の輪郭等について説明いただきました。また瑞泉寺では、鎌倉の庭園の特色として挙げられた客殿からの庭園の面壁の峻烈さ、偏界一覽亭から丘陵に囲まれた俯瞰の広大さを実際に感じ、立地環境と庭園の関係について解説いただきました。円覚寺では境内の伽藍配置を案内いただき、庭園整備を指導された龍居竹之介氏より禅宗寺院庭園の特徴、整備前の状況や整備方針等が解説されました。また庭園整備に携わられた廣瀬慶寛氏より技術的整備手法の説明がありました。

今回の研修において、風土に根ざして生まれ育てられてきた、鎌倉の固有な庭園文化に深く触れることができたのではないかと思います。

平成 16 年度特別技能研修開催

平成 17 年 2 月 12 日（土）から 14 日（月）にかけて、9 名の参加をもって開催しました。

12 日（土）は滋賀県東部の庭園をまわりました。米原町国指定名勝青岸寺庭園では本協議会準会員北村正隆氏を講師に、過去の写真資料も参考にしながら、植生の生長による景観変化の現状と問題点、今後の管理の方向性をどう考えればよいか等、活発な意見交換を行いました。続いて徳源院庭園へ移動。以前は多数を占めた松が枯れ変化した景観についてご住職から説明をいただき、どう管理をしていけば良いか、ここでも活発な意見が出ました。長浜市慶雲館庭園では本協議会研修会員中川源蔵氏の説明のもとに、植治の作庭手法について京都の庭園とも引き比べながら、参加者皆が興味深く見学しました。

13 日（土）は彦根城・国指定名勝玄宮園・楽々園にて見学、護岸調査の後、楽々園裏に多数ある、数年ほど手の入っていない松を題材に、剪定実習を行いました。講師の本協議会準会員片石高幸氏から参加者一人ひとりへの的確なアドバイスの声が掛かっていました。

14 日（月）は彦根城内にて松の初期手入れ。こちらは前日取り組んだ松に比べ手を入れるべき部分も分かり易く、学んだことを確認しながら実習を行いました。



玄宮園にて見学の様子



楽々園にて実習の様子

事務局より

新規加入会員の紹介

平成16年度末で技能会員は75名となりました。ここに新規会員になられた方をご紹介します。

●技能会員

会員種別	氏名	所属	所在
正会員	木村 衛	植彌加藤造園(株)	京都府
準会員	望月 敬生	望月敬生建築設計室	千葉県
研修会員	福田 直男	樋口造園(株)	京都府
研修会員	越野 瑞穂	樋口造園(株)	京都府
研修会員	中浜 年文	中浜造園	北海道
研修会員	桃井 賢二	桃井造園	北海道
審査中	武田 潔	樋口造園(株)	京都府
審査中	柴田 正文	(有)スペースジャパン	東京都

編集後記：▼当協議会の活動も 4 年目、平成 17 年度に入りました。今年度の研修内容については総会にて発表させて頂きます。今年度はそれに引き続き三号の「水処理管理技術」をテーマとして昨年よりも更に充実した内容にして参りたいと思いますので、研修会場・研修内容等でご意見をお持ちの方は、事務局までご提案下さいませ。▼